

2018/3/8 19:40 神戸新聞NEXT

正しい税の知識学ぼう 洲本実業高でOGが特別授業



税金の仕組みについて解説する
永田絵理税理士 = 洲本実業高校

🔍 拡大

社会人になっても役立つ税金の知識を身に付けてもらおうと「高校生のための租税教室」が8日、兵庫県洲本市宇山2の洲本実業高校で行われた。同校の卒業生で税理士の永田絵理さんが講師を務め、1、2年生約80人が税金の仕組みなどを学んだ。

永田さんは同校卒業後、大阪学院短大に入学。2000年に税理士資格を取得し、大阪府摂津市で事務所を構える。同校ではここ数年、商業科を卒業する学生の30～50パーセントが就職を選んでおり、4年前から同様の教室を毎年開いている。

授業では、なぜ税金が必要なのかを説いた上で、使い道やふるさと納税の仕組みについて講義。架空の給与明細書を使って所得税額を計算し、年収が高いほど税率が高くなる超過累進課税率についても解説した。

商業科2年の生徒（17）と国際ビジネス科2年の生徒（17）は、「国や県、市によって納める税金が違い、種類も多いことを知った。ふるさと納税をしてみたい」。永田さんは、「母校で教えられてうれしい。自分が払う税金がどのように使われ、役立っているのかを理解してもらおうきっかけになれば」と話した。（赤松沙和）